

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和6年度・第9回）議事概要

日 時 令和7年（2025年）1月8日（水）14:00～16:15

場 所 宝塚市役所第二庁舎1階 会議室A・B

出席者

<まちづくり協議会>

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	綿 昭人会長	●	
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長	●	
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長	●	
宝塚市光明地域まちづくり協議会	小林 敏明会長	●	
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長	●	
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長	●	
まちづくり協議会コミュニティ末広	豊田 茂男代表		
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	山本 敏晴会長	●	
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長	●	
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会	島津 早苗代表	●	
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅会長	●	
売布小学校区まちづくり協議会	赤阪 俊一会長	●	
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長	●	
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表	●	
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長	●	
中山台コミュニティ	松下 義弘会長	●	
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	奥野 廣明政策室長	●	
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	前田 幸夫会長	●	
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長		

<その他>

山崎市長

市民交流部 総谷部長、藤田次長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長他

財務担当 吉田部長、喜多次長

経営改革担当 政処部長、経営改革推進担当 田外課長

業務改革推進課 中瀬係長

管理部 高田部長

学校教育課 谷川係長
都市安全部 江崎部長
公園河川課 雑賀課長
健康事業担当 平松課長
健康推進課 中西係長、加藤職員、横山職員
宝塚NPOセンター 平岩氏
宝塚市社会福祉協議会 地区担当支援課 太田係長、企画人事課 藤井課長、松原氏
傍聴者 なし

議事概要（要旨）

1. 市長挨拶

2. 宝塚市の財政状況について

（第2部 これからの時代にふさわしい行財政経営の実現に向けて）

市長より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。意見交換の内容は以下のとおり。

ア 昨年3月に出た令和6年から令和15年までの財政見通しの中で、約112億円の一般財源不足が出るとなっているが、現に、令和8年度の予算が組めないのではないかという意見が出ている状況である。財政調整基金が今後減少していく中、今後3年間で24億円を捻出しないといけないが、その目途が立っていない。国からの補助金があっても市立病院建設費と新ごみ処理施設建設費の合計約400億円の資金を積み立てていかないといけない。今、宝塚市は一番厳しい財政状況である。全国的に53%の市の税収が伸びているが、近隣市と比較しても宝塚市は税収が伸びていない。民生費が極端に多く、土木費が削られているため、市内のインフラが崩壊している。こういう状況であることを市民に伝えるべきであると思う。それを市民に伝えた上で、先ほどおっしゃられたような取り組みを行っていただきたい。個人の意見として、必要でないと思う事業や削減すべき費用はあると思っている。もし、事業の縮小や削減を検討される際には、まち協に相談していただければ、まち協から地域住民に伝えることはできる。

イ （市長）宝塚市は近隣市と比較すると企業が少ないため、税収の伸びが少ない。また、私が就任した時はインフラ等がとても厳しい状況だったため、今はインフラに2、3倍の費用をかけていること、加えて、将来に向けてしっかり貯金をしていることも財政状況が厳しい要因となっている。これから数年、一番厳しい状況となるが、セーフティネットは張りながら取り組みたいと思う。今ある事業で生活をされている市民の方は支えつつ、様々なご意見をいただきながら事業の見直しを行っていく。見直すにあたっては、市民の皆様の説明を行い、ご理解を得ながら検討していく。歳入に関して、来年度、ふるさと納税をはじめ

め歳入確保に向けた取組を推進するためのチームの立ち上げを検討している他、国や県からの財源を引き続きしっかり確保していけるよう取組を継続していくとともに、さらなる財源確保につながるよう、補助金等の制度も精査して、歳入が増えるように検討していく。

ウ 今後どのような取組みを進めていくのかということをも市民にしっかり説明していただくことが非常に重要。何を我慢し、将来に何の希望をもたせていくのかを理解し合いながら事業を進めていくことが大切。まち協が協力できることもあると思うため、事業の見直しを検討される際には、まち協に相談をしていただければと思う。

エ (市長) 宝塚市の状況をより多くの方に理解していただきながら取組を進めていきたいと考えている。皆さまに様々な情報を提供し、相談させていただきながら進めていきたい。今後、様々な部署から皆様に相談があるかもしれないが、是非ストレートな意見をいただき、一緒に考えていただけたらと思う。

オ 資料の中に事務事業見直しの一覧があるが、事業担当課で検討するのか、横断的に複数の担当で検討するのかを明確にして、約束いただきたいと思う。担当課から説明をされる際に、市の方針だけを説明するのではなく、地域の関係者の方々と熟考された上で結論を出していただきたい。

カ (市長) 事業担当課は横のつながりを持ちながら進めていく。

キ まち協関連でいうと、まち協補助金のカットも可能性としてあると思っている。市民活動は、担い手不足となっている中、補助金はとても重要であるため、そこをカットされると活動自体が萎えてしまう。カットすべきものはカットしていくべきだと思うが、地域と一緒に話し合いをしながら進めていただきたいと思う。

ク (市長) まち協補助金をカットするという事は考えていないし、担当部局からも上がってきていない。昨年、多くの地域の活動を見せていただいて、物価高騰等で厳しい状況の中で尽力いただいているお姿を目の当たりにした。地域活動は宝塚市の心臓の鼓動のようなものだと思っているため、それを止めるようなことをするつもりはない。もちろん、相談させていただきたい時には必ず相談させていただくが、現時点でそういったことをするつもりは全くない。

3. 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和6年度・第7回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへ公開することが承認された。

4. 部活動の地域移行について（教育委員会）

学校教育課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。意見交換の内容は以下のとおり。

ア 部活動が地域移行となると、現在、学校が所有している部活動に必要な備品は貸出してもらえるのか。それとも地域クラブに譲渡するのか。

- イ (学校教育課) 現在、学校が所有している備品については、令和8年度に地域移行する段階では貸出をする。高額な備品の購入費用の負担については、現段階では決定していない。現在も高額な備品購入に充てる予算は国・県・市から出しており、部活動の地域移行によってその歳出がなくならないよう市で検討する。学校に設置されている防球ネット等の設備については、市で一定の設備管理をしないといけないと思う。今後、国の指針等を注視しながら検討を進める。
- ウ 現在ある部活動の指導者がいなくなった場合、その部活動は解散になるのか。
- エ (学校教育課) 指導者がいないということに極力ならないように指導者を探そうと思っているが、指導者がいなければ解散はあり得る。地域移行となるため、通学する学校以外での活動になる可能性もある。
- オ 大会やコンクールの会場までの費用も個人負担という認識か。
- カ (学校教育課) 現在もその費用は個人負担になっている部分はある。
- キ 部活動が地域移行になれば、クラブの指導者は無償ボランティアとなるのか。
- ク (学校教育課) 無償で活動いただく指導者もいるし、兼職兼業で申請する指導者も出てくると思う。費用等の制度の決定は今度行う。原則は受益者負担のなかで、クラブから指導者に対して報酬を支払うということは考えられる。
- ケ クラブの運営主体は保護者になるのか。運営団体を市が紹介するのか。
- コ (学校教育課) 必ずしも保護者になるとは限らない。運営主体が法人であるかどうかは問わない。ただ、市が新たにスポーツ団体を設立するという事はない。今あるスポーツ団体に中学生が加入する、あるいは教員が団体を作ってその団体のお手伝いで保護者が入るという構図は考えられる。
- サ 各地域に任せるということか。
- シ (学校教育課) 子どもの数が減少していて、学校単位で多くの活動を維持していくことができなくなっているというのが大元にあるため、地域単位でのクラブ活動になっていくと考えられる。そこに指導者を希望する教員が加わっていくことになる。中学校教員へこの件の説明は終わっており、社会体育団体には種目ごとにどのような受け入れ体制がとれるかを伺い、依頼をしていく。生徒には手紙を配布し、各家庭に周知を図った。また、中央公民館、東公民館、西公民館での説明会も予定している。
- ス 活動場所が自宅から離れたところになると、通学する学校から活動場所まで自転車移動をすることが想定されるが、現在、自転車通学が禁止されているところはどのように考えているか。また、指導者について、スポーツクラブ21との兼ね合いはどのように考えているか。
- セ (学校教育課) 現在も、一度帰宅して自転車でクラブ活動や習い事に行くことは認めている。今後、自転車の取り扱いについては検討する。2月以降にスポーツクラブ21に向けた説明会を実施する予定である。
- ソ 部活動地域移行検討協議会の構成メンバーが不十分ではないかと思う。また、部活動を地域移行する趣旨と実際の取り組みにギャップがあるように感じる。

活動に必要な備品は、受益者負担になるという話であったが、活動の運営主体が地域になったとしても、備品の費用は市で負担していただきたい。そういったことも部活動地域移行検討協議会で話し合っていたいただきたい。

タ (学校教育課) 検討する。

チ 部活動の地域移行について、地域で話題はよくあがっていたが、誰も答えを知らない状況だった。子どもが中学生の家庭には情報が入っていると思うが、そうでない家庭への説明機会は、公民館での説明会だけでは不十分ではないかと思う。各地域に出向いて説明をしてもらいたい。

ツ チの発言に関連して、まち協が対応することはあるか。

テ (学校教育課) 各学校に説明に回ると時間差ができることから、公民館で説明会をすることとなった。また、学校に保護者が集まる場で、生徒も含めて説明をする機会を設けようと考えている。地域移行をすると教員だけでは運営できないこともでてくるため、保護者や地域の方々からの支援は必要になってくる。まち協にも支援していただきたいと思っているため、各まち協へ説明に伺うことも検討する。部活動地域移行検討協議会の委員構成もまだ決定していないため、委員としてまち協の方々に参画いただきたい。地域移行の趣旨として、子どもの数が減少していることと併せて、競技経験のない教員が指導をしないといけないという実態があり、専門的な指導をするために地域移行が最適ではないかという考えである。高額な備品の購入については、重要課題として国・県と検討を進めたいと思う。

ト 3点質問をする。1点目、小学校には部活動はあるのか。2点目、部活動地域移行検討協議会は学校ごとに設置されているのか。3点目、手作り部はどのような活動をしているのか。

ナ (学校教育課) 小学校に部活動はなく、授業の一環でクラブ活動をしている。クラブ活動は教員が指導している。部活動地域移行検討協議会は市全体での取り組みである。市内で1つ協議会を設置し協議している。手作り部は学校によって内容は異なるが、ある学校では手芸の活動をしている。

ニ 部活動の地域移行は仕方がないことであると思うが、高額な備品の購入については国・県と検討をしていただきたい。

ヌ 部活動の地域移行によって、少年犯罪が増加するのではないかと懸念する。部活動があることで子どもの居場所づくりになっているところもあると思う。そういったことも踏まえて進めていただきたいと思う。

5. パークマネジメント計画に関する説明における意見集約等について (公園河川課)

公園河川課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。

6. 健康たからづか21 (第三次) (案) のパブリック・コメントの実施及びアンケート調査結果の報告とお願いについて (健康推進課)

健康推進課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。意見交換の内容

は以下のとおり。

- ア 成人期の主な施策として「多量飲酒者を減らす」とあるが、施策はこれだけか。社会参加も重要ではないかと思う。以前に、「住んでいるだけで健康になるまち」という話を聞いたことがあり、感銘を受けたのは、歩く時間を増やす、社会参加を増やすという話だった。日頃の行動が健康につながるまちづくりが重要であると思うが、こういった観点から施策を検討いただいているか。
- イ (健康推進課) 例として1つあげて資料には記載した。概要版にはその他の目標も記載している。個人の健康づくりを地域社会全体の環境を整備して自然と健康になれるということを記載している。社会活動については、参加できるグループが近くにあったり、公園が近くにあれば運動をする機会が増えるといった環境を整えることで健康行動を変えることが分かっている。このことは計画本編には記載している。
- ウ 各まち協ごとに具体的な提案があれば、対応ができると思う。

7. 地域ごとのまちづくり計画

(1) 地域ごとのまちづくり計画令和6年度進捗確認の実施について

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。

(2) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会、安倉地区まちづくり協議会、の推進シート及び対話シート配布の共有があった。

8. 宝塚NPOセンターからのお知らせ

宝塚NPOセンターより、以下について、報告があった。

- (1) 2/15(土) 開催自立支援セミナー「ひきこもりの子の心の声を聴く～家族にできるコト～」のご案内

9. 社会福祉協議会からのお知らせ

社会福祉協議会より、以下について、報告があった。

- (1) 「クールシェアたからづか2024」報告
- (2) 「一緒に考えよう災害時のこと」ご案内
- (3) 「赤い羽根共同募金 公募配分中止について」ご案内

10. その他

子ども政策課より「あたたかく子どもを見守るまち宝塚」啓発ポスターの紹介及び各まち協における啓発協力についての依頼があった。

11. 今後の日程

市民協働推進課より、配布資料に基づき、今後の開催予定について周知があった。